

家畜市場 価格の推移 (6月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	5	5	100.0%	158,760	90,720	127,224	55
	雄	72	72	100.0%	205,200	17,280	168,090	63
計	77	77	100.0%	205,200	17,280	165,436	63	
F1	雌	158	152	96.2%	330,480	123,120	289,871	65
	雄	153	144	94.1%	410,400	108,000	327,840	70
計	311	296	95.2%	410,400	108,000	308,550	67	
ホルス(5才) 雌	36	36	100.0%	414,720	73,440	244,860	762	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
北見	4日	272	227	83.5%	1,287,360	488,160	920,008
十勝	5日	640	612	95.6%	1,788,480	363,960	983,234
南北海道	8日	97	87	89.7%	1,383,480	572,400	826,126
釧路	13日	214	161	75.2%	1,329,480	646,920	923,628
根室	14日	466	383	82.2%	1,276,560	436,320	859,325
豊富	15日	249	199	79.9%	1,083,240	650,160	900,883
		1,938	1,669	86.1%	1,788,480	363,960	902,200

業務報告 (6月分)

- 1日 (一社) 全国酪農協会監査会・役員会
- 4日 中国生乳販連監事会
- たかみや湯の森総会
- 賀茂地域酪農団体連絡協議会監査会・役員会
- 北広島町畜産部会
- 5日 全酪連審議委員会
- 畜産環境対策会議
- 6日 ひろく女性グループ連絡協議会二役会
- 7日 HJC監査
- 8日 広島県酪農政治連盟監査
- (一社) 広島県酪農協会監査
- 庄原みるくの会研修会
- 8日 山陽乳業(株)取締役会
- 11日 東部地域地区懇談会
- 11日 高宮地域地区懇談会
- 12日 (一社) 広島県畜産物衛生指導協会理事会
- 13日 西部地域地区懇談会
- 14日 南部地域地区懇談会
- 15日 賀茂地域酪農団体連絡協議会総会
- 15日 備北地域地区懇談会
- 15日 牛乳月間県知事・県教育長訪問
- 15日 酪農ヘルパー調整会議
- 21日 中国三県購買担当者会議
- 21日 広島県牛乳普及協会総会
- 22日 JA広島県大会プロジェクト会議
- 22日 広島県酪農政治連盟総会
- (一社) 広島県酪農協会総会
- 25日 庄原地域酪農振興会役員会
- 25日 酪農教育ファーム中国地域推進委員会
- 26日 第二回理事会
- 27日 (一社) 全国酪農協会監査会・総会
- (一社) 広島県畜産物衛生指導協会総会
- 27日 山陽乳業(株)定時株主総会
- 28日 乳代精算システムあり方検討会
- 28日 議決権行使書面精査確認
- 29日 神石地域酪農振興協議会総会
- 29日 第二十四回通常総会
- 第一回監事会
- 平成三十年度乳用後継牛緊急確保事業推進会議

編集後記



七月五日から七日に襲った西日本豪雨は、広島県内各地に大きな爪痕を残しました。

被害、災害にあった各位に對しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

気象庁は、この豪雨の予報から、「大雨特別警報」を発令し、行政無線やテレビの各種メディア、携帯電話、スマホ等を通じて避難勧告、避難指示を発信し人々の生命・身の安全確保が呼びかけました。

発令から十二日経過した段階で、豪雨への備えがどの程度、人々に浸透し効果があったかの検証を今後進めると方針を述べています。

今回災害、被害に直面した人々は、避難勧告や避難指示の情報は知り得ながら、「まさか我が家は、自分は大丈夫であろう・・・」との思いから避難を躊躇したことを明かす報道もありました。

さてさて、組合員の皆さんの避難勧告、避難指示への反応はどの様な状況でありましたか？

広島は、この豪雨の影響で七月七日(土)の深夜午前二時前に県内東部地域の集乳を委ねる(有)城南運輸から「集乳車両や事務所の水没、社員の自宅被害により東部管内三十八戸の酪農家への集乳は出来ない」と苦渋の一報が入りました。

東部管内の酪農家が日々生産される生乳の約四十トンには、直接、広酪の関連会社「山陽乳業(株)」に配乳していませんが、同社も約一・五トン水没して操業不全の状態に陥りました。九日、同社社長は、社員を前にして、災害復旧からの二週間で完全復旧との目標を語られたそうです。

今回の豪雨影響は、東部地域のみならず県南部(東広島市)や県北部(庄原市)の幹線道路や私道寸断、また停電などの影響を受けて集乳不能に伴う生乳廃棄量は約十三トン発生しました。

この豪雨を受けて、広酪は、七月七日

市町別生乳受託量の進捗状況(6月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	30年度累計	前年比(累計)
庄原市	847.4	22.5%	92.7%	2,603.4	94.2%
三次市	637.0	16.9%	94.0%	1,966.5	92.0%
世羅町	594.6	15.8%	100.8%	1,820.8	101.6%
北広島町	470.1	12.5%	98.7%	1,455.1	100.3%
東広島市	332.5	8.8%	102.6%	1,028.5	104.7%
安芸高田市	318.8	8.4%	81.5%	995.1	82.1%
府中市	214.7	5.7%	99.1%	652.2	98.5%
福山市	122.3	3.2%	90.7%	386.8	92.2%
三原市	80.9	2.1%	103.5%	241.0	98.8%
広島市	80.2	2.1%	101.2%	244.9	100.5%
呉市	53.2	1.4%	100.5%	158.9	100.5%
神石高原町	22.1	0.6%	102.7%	67.7	76.2%
合計	3,773.9	100.0%	95.4%	11,621.0	95.6%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

プール乳価(6月分)

プール乳価	111.7625円
前月分プール乳価	111.2323円
前月対比	100.47%

生乳生産量など前年同期比較(6月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	54戸	42.9%	180,127.4
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	72戸	57.1%	-310,322.4
合計	126戸	100.0%	-130,195.0

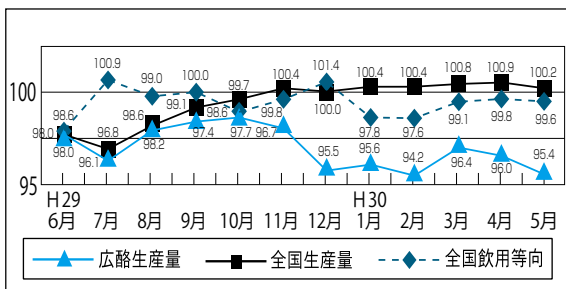
注)この比較は、平成30年6月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。(廃業組合員は含まない)

生乳受託実績(6月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	11	38	38	126
生乳出荷量(トン)	1,322.8	385.7	869.2	1,196.3	3,773.9
前年同月対比(%)	92.8%	102.3%	91.8%	99.0%	95.4%
前月対比(%)	94.7%	95.3%	93.8%	95.0%	94.6%
生乳出荷累計(トン)	4,070.4	1,187.4	2,695.1	3,668.1	11,621.0
広酪構成比(%)	35.0%	10.2%	23.2%	31.6%	100.0%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

生乳需給の前年比推移(5月) (単位:%)



市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(5月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	50,866	899	32.3%	56.58円
2	三次市	36,395	672	23.1%	54.16円
3	安芸高田市	16,753	344	10.6%	48.70円
4	府中市	14,342	222	9.1%	64.60円
5	北広島町	12,117	499	7.7%	24.28円
6	福山市	7,784	132	4.9%	58.97円
7	世羅町	7,040	625	4.5%	11.26円
8	東広島市	5,128	351	3.3%	14.61円
9	三原市	4,827	82	3.1%	58.87円
10	神石高原町	1,211	24	0.8%	50.46円
11	広島市	611	84	0.4%	7.27円
12	呉市	286	53	0.2%	5.40円
合計		157,359	3,988	100.0%	39.46円

早朝八時に「広酪豪雨災害対策本部」(以下「広酪災害本部」)を設置しましたが、西日本豪雨災害を受けて対応した概要は、巻頭記事「ドキュメント」に綴って見ました。

今回の対応は、集送乳を司る運送会社や、中国生乳販連、乳業者などの絶大な応援態勢、いわば関係組織の総合力の結集を發揮しての頑張りある対応から、酪農家に自主廃棄を求めめることも無く急場を凌ぐことが出来たように思います。

組合員からは、「どうなるかと思っただけ、救える生乳は一滴も廃棄しなかつたのは凄い、広酪はようやったの」と感謝の言葉を寄せて戴きました。

役員にとつて、この言葉は、身に余る光栄であり安堵感と充実感に笑顔が溢れました。

本誌二十五頁の「かがやき」ではワールドカップに臨んだサッカー選手の行動を綴っていますが、状況変化の中で、瞬時の判断と対応力、適応力などに触れていきます。この度、「広酪災害本部」がとつた行動は、この記述に相当するのでは無いかと手前味噌ではありますが感じていきます。

広酪の「信頼され期待される広酪」、「組合員の経営安定に貢献する広酪」、「安全・安心な食品としての生乳出荷と活力ある酪農を目指します」の経営理念に通じる行動評価は、あくまでも組合員の皆様によるものですが、追伸、関連会社「山陽乳業(株)」も水没から甚大な被害を受け、役員・社員一丸の再建を目指して暑さ厳しいなかで片付けや清掃などの行動にあたられたおかげで、広酪も救援物資の提供や再建のための政治的行動にあたり、強い農業づくりの交付金事業の災害特別枠をもつたの対応に一応の筋道が確認出来た状況にあります。

広酪も同社の一刻も早い再建・再出発の方向性を見極めつつ、その支援にあたりたいです。

(A・N)